

1371				保険薬局として認定される条件を、薬局の設備と関連づけて具体的に説明できる
1372			処方せんの受付	処方せん(麻薬を含む)の形式および記載事項について説明できる
1373				処方せん受付時の対応および注意事項(患者名の確認、患者の様子、処方せんの使用期限、記載不備、偽造処方せんへの注意など)について説明できる
1374				初来局患者への対応と初回質問表の利用について説明できる
1375				初来局および再来局患者から収集すべき情報の内容について説明できる
1376				処方せん受付時の対応ができる
1377				生命に関わる職種であることを自覚し、ふさわしい態度で行動する
1378				患者が自らすすんで話ができるように工夫する
1379				患者との会話などを通して、服薬上の問題点(服薬状況、副作用の発現など)を把握できる
1380			処方せんの鑑査と疑義照会	処方せんが正しく記載されていることを確認できる
1381				処方せんに記載された処方薬の妥当性を、医薬品名、分量、用法、用量、薬物相互作用などの知識に基づいて判断できる
1382				薬歴簿を参照して処方内容の妥当性を判断できる
1383				疑義照会の行い方を身につける
1384				疑義照会事例を通して、医療機関との連携、患者への対応をシミュレートする
1385			計数・計量調剤	薬袋、薬札に記載すべき事項を列挙できる
1386				処方せんの記載に従って正しく医薬品の取りそろえができる
1387				錠剤、カプセル剤などの計数調剤ができる
1388				代表的な医薬品の剤形を列挙できる
1389				医薬品の識別に色、形などの外観が重要であることを、具体例を挙げて説明できる
1390				代表的な医薬品の商品名と一般名を対比できる
1391				同一商品名の医薬品に異なった規格があるものについて具体例を列挙できる
1392				異なる商品名で、同一有効成分を含む代表的な医薬品を列挙できる
1393				代表的な同種・同効薬を列挙できる
1394				代表的な医薬品を色・形、識別コードから識別できる
1395				一回量(一包化)調剤を必要とするケースについて説明できる
1396				一回量(一包化)調剤を実施できる
1397				錠剤の粉砕、およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる
1398				散剤、液剤などの計量調剤ができる
1399				調剤機器(秤量器、分包機など)の基本的取扱いができる
1400				毒薬・劇薬、麻薬、向精神薬などの調剤と取扱いができる
1401				特別な注意を要する医薬品(抗悪性腫瘍薬など)の取扱いを体験する
1402				自己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤し、その取扱い方を説明できる
1403			計数・計量調剤の鑑査	調剤された医薬品に対して、鑑査の実務を体験する
1404			服薬指導の基礎	適切な服薬指導を行うために、患者から集める情報と伝える情報を予め把握できる
1405				薬歴管理の意義と重要性を説明できる
1406				薬歴簿の記載事項を列挙し、記入できる
1407				薬歴簿の保管、管理の方法、期間などについて説明できる

1408				妊婦、小児、高齢者などへの服薬指導において、配慮すべき事項を列挙できる
1409				患者に使用上の説明が必要な眼軟膏、坐剤、吸入剤などの取扱い方を説明できる
1410				自己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤し、その取扱い方を説明できる
1411			服薬指導入門実習	指示通りに医薬品を使用するように適切な指導ができる
1412				薬歴簿を活用した服薬指導ができる
1413				患者向けの説明文書を使用した服薬指導ができる
1414				お薬手帳、健康手帳を使用した服薬指導ができる
1415			服薬指導実践実習	患者に共感的態度で接する
1416				患者との会話を通じて病態、服薬状況(コンプライアンス)、服薬上の問題点などを把握できる
1417				患者が必要とする情報を的確に把握し、適切に回答できる
1418				患者との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集し、必要に応じて対処法を提案する
1419				入手した情報を評価し、患者に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる
1420			調剤録と処方せんの保管・管理	調剤録の法的規制について説明できる
1421				調剤録への記入事項について説明できる
1422				調剤録の保管、管理の方法、期間などについて説明できる
1423				調剤後の処方せんへの記入事項について説明できる
1424				処方せんの保管、管理の方法、期間などについて説明できる
1425			調剤報酬	調剤報酬を算定し、調剤報酬明細書(レセプト)を作成できる
1426				薬剤師の技術評価の対象について説明できる
1427			安全対策	代表的な医療事故訴訟あるいは調剤過誤事例について調査し、その原因について指導薬剤師と話し合う
1428				名称あるいは外観が類似した代表的な医薬品を列挙できる
1429				特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、抗糖尿病薬など)を列挙できる
1430				調剤過誤を防止するために、実際に工夫されている事項を列挙できる
1431				調剤中に過誤が起こりやすいポイントについて討議する
1432				過誤が生じたときの対応策を討議する
1433				インシデント、アクシデント報告の記載方法を説明できる
1434		薬局カウンターで学ぶ	患者・顧客との接遇	かかりつけ薬局・薬剤師の役割について指導薬剤師と話し合う
1435				患者、顧客に対して適切な態度で接する
1436				疾病の予防および健康管理についてアドバイスできる
1437				医師への受診勧告を適切に行うことができる
1438			一般用医薬品・医療用具・健康食品	セルフメディケーションのための一般用医薬品、医療用具、健康食品などを適切に選択・供給できる
1439				顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる
1440			カウンター実習	顧客が自らすすんで話ができるように工夫する
1441				顧客が必要とする情報を的確に把握する
1442				顧客との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集できる
1443				入手した情報を評価し、顧客に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる
1444				疾病の予防及び健康管理についてアドバイスできる

1445				セルフメディケーションのための一般用医薬品・医療用具などを適切に選択・供給できる
1446				医師への受診勧告を適切に行うことができる
1447				患者・顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる
1448		地域で活躍する薬剤師	在宅医療	訪問薬剤管理指導業務について説明できる
1449				在宅医療における医療廃棄物の取り扱いについて説明できる
1450				薬剤師が在宅医療に関わることの意義を指導薬剤師と話し合う
1451			地域医療・地域福祉	病院薬剤師と薬局薬剤師の連携の重要性を説明できる
1452				当該地域における休日、夜間診療と薬剤師の役割を説明できる
1453				当該地域での居宅介護、介護支援専門員などの医療福祉活動の状況を把握できる
1454			災害時医療と薬剤師	緊急災害時における、当該薬局および薬剤師の役割について説明できる
1455			地域保健	学校薬剤師の職務を見聞し、その役割を説明できる
1456				地域住民に対する医薬品の適正使用の啓発活動における薬剤師の役割を説明できる
1457				麻薬・覚せい剤等薬物乱用防止運動における薬剤師の役割について説明できる
1458				日用品に係る薬剤師の役割について説明できる
1459				日用品に含まれる化学物質の危険性を列挙し、わかりやすく説明できる
1460				誤飲、誤食による中毒および食中毒に対して適切なアドバイスできる
1461				生活環境における消毒の概念について説明できる
1462				話題性のある薬物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる
1463			地域対応実習	日用品に含まれる化学物質の危険性を列挙し、わかりやすく説明できる
1464				誤飲、誤食による中毒および食中毒に対して適切なアドバイスできる
1465				生活環境における消毒の概念について説明できる
1466				話題性のある薬物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる
1467		薬局業務を総合的に学ぶ	総合実習	薬局業務を総合的に実践する
1468				患者の健康の回復と維持に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を感じ取る
1469				薬が病気の治癒、進行防止を通して、病気の予後とQOLの改善に貢献していることを感じ取る